

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 5 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公開番号】 特開 2006-46404 (P2006-46404A)
 【公開日】 平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-007
 【出願番号】 特願 2004-225587 (P2004-225587)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 17/10 (2006.01)

F 1 6 K 31/383 (2006.01)

F 1 6 K 47/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 17/10

F 1 6 K 31/383

F 1 6 K 47/04 Z

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 7 月 20 日 (2007.7.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 1 0
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 0】

前記スプール弁 3 1 は円筒形状を有し、一端側 3 1 a、他端側 3 1 b 及び制御部 3 1 c は、外周面が共に同径に形成されて穴 2 8 に係合され、一端側 3 1 a と制御部 3 1 c との間、他端側 3 1 b と制御部 3 1 c との間には、軸心方向に環状溝 3 7 a、3 7 b が形成され、かつ圧力室 2 7、2 6 に連通されている。

前記他端側 3 1 b には、軸心方向に穴（油室）3 8 が穿設され、さらに制御部 3 1 c 及び一端側 3 1 a に指向する穴 3 9 が前記穴 3 8 に連通して形成され、前記穴 3 9 に連通して一端側 3 1 a に開口するチョーク 4 0 が形成される。前記穴 3 8 には後述するばね部材 4 4 が装着される。なお、チョーク 4 0 はスプール弁 3 1 の一端側 3 1 a の端面と穴 3 9 側との間に圧力差を発生させる機能を有する。

前記制御部 3 1 c は、軸心方向に延伸するランド 4 1 が設けられ、該ランド 4 1 の外周面には、円周上に半径方向に延伸する横断面半円形状の複数個、例えば 4 個の通路 4 2 が形成され、供給ポート 2 4 から制御ポート 2 5 に流れる圧油の流量を調整する機能を有する。